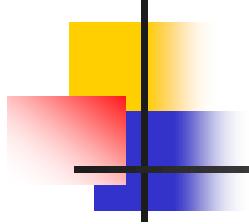


全国がん登録 —具体的な登録について

福井県立病院
海崎 泰治



全国がん登録 —具体的な登録について

- 全国がん登録の目的
- (全国)がん登録の施設での運用方法
- 具体的ながん登録方法・事例について

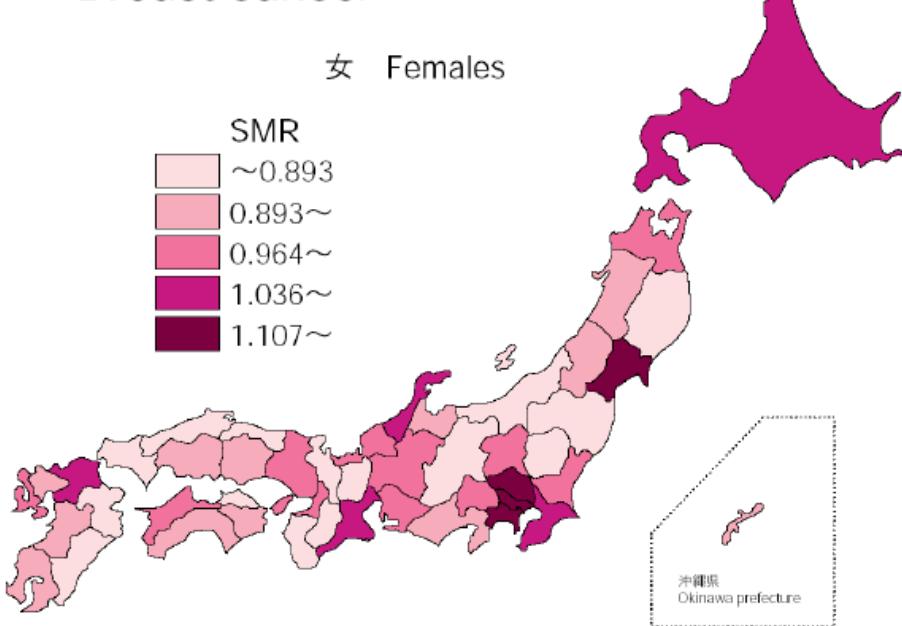
乳がんの標準化死亡比に地域差が観察された場合



国立がん研究センターがん対策情報センター
National Cancer Center
Center for Cancer Control and Information Services

11. 乳がん

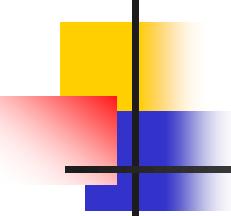
Breast cancer



状況を見極め、対策を講じるには罹患情報（がん登録）がないと永久に不明

- 乳癌の罹患数が多いのか?
⇒リスク要因の同定・予防対策の実行
- 早期発見ができるていないのか?
⇒検診プログラムの普及と品質管理システムの確立
- 治療が悪いのか?
⇒地域格差・施設格差の把握とその原因を把握





がん登録の種類

- 全国がん登録 (都道府県→国が主体)
 - その地域での罹患の把握
 - 国及び都道府県による利用及び提供の用に供するため、国内におけるがんの罹患、診療、転帰等に関する情報をデータベースに記録し保存すること
- 院内がん登録 (医療機関が実施)
 - 施設のがん診療の状況把握
 - がん医療の提供を行う病院において、がん診療の状況を適確に把握するため、病院において診療が行われたがんの罹患、診療、転帰等に関する詳細な情報を記録し保存すること
- 臓器がん登録 (学会・研究会が実施)
 - 診断や治療のガイドライン作成

トップ

がん
ぎもby 編集部
PR 「ド...
PR 「桐...
PR 【就...

5 塩分・熱いものはNG やせす



1

力の法則」に迫る／無料セミナー
オススメの銘柄／松井証券
5！～アエラ企業研究ムック

国立がん研究センターが6月29日に発表したがん罹患率は、都道府県によって大きな差があった。食生活や運動の仕方、ライフスタイルなどでリスクが違う。がんにならないためにはどうすればいいのか。

* * *

がんは、予防できる。

国立がん研究センターによれば男性のがんの53.3%、女性のがんの27.8%が、努力次第でがんの予防が可能だという。男女差がこれだけ大きいのは、喫煙や飲酒などがんのリスクとなる生活習慣が、男性のほうに多いからと言われる。

ひとし、
センター
④拡大

Difference in Accuracy between Gastroscopy and Colonoscopy for Detection of Cancer

Osamu Hosokawa¹, Masakazu Hattori¹, Kenji Douden¹, Hiroyuki Hayashi¹
Kouji Ohta¹, Yasuharu Kaizaki²

Departments of Surgery¹ and Pathology², Fukui Prefectural Hospital, Fukui, Japan

Corresponding Author: Osamu Hosokawa, Department of Surgery, Fukui Prefectural Hospital

Yotsui 2-8-1, Fukui City, Fukui, 910-8526 Japan

Tel: +81 776 54 5151, Fax: +81 776 54 6090, E-mail: hoso-o@mx2.fctv.ne.jp

KEY WORDS:

Gastroscopy;
Colonoscopy;
Detecting cancer;
False negative rate

ABBREVIATIONS:

Death Certificate
Only (DCO)

ABSTRACT

Background/Aims: There are few reports regarding the accuracy of endoscopy in detecting cancer. We investigated the difference in the false-negative rates for cancer detection between gastroscopy and colonoscopy using the records of a population-based cancer registry, which is the most accurate in Japan.

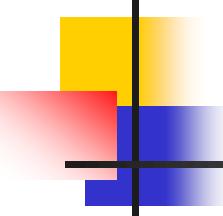
Methodology: Between 1990 and 1995, 51,411 gasto-scopic and 7,756 colonoscopic examinations were carried out in our hospital. These subjects were matched with the cancer registry and the patients

whose gastric or colorectal cancers were missed by examinations were identified.

Results: The false-negative rate for the detection with gastroscopy was 25.8 percent at three years but that with colonoscopy was 11.1 percent. This difference was statically significant $p=0.01$.

Conclusions: We concluded that for routine examinations, surveillance after negative endoscopy should be discussed based on the difference in false-negative rates between gastroscopy and colonoscopy.

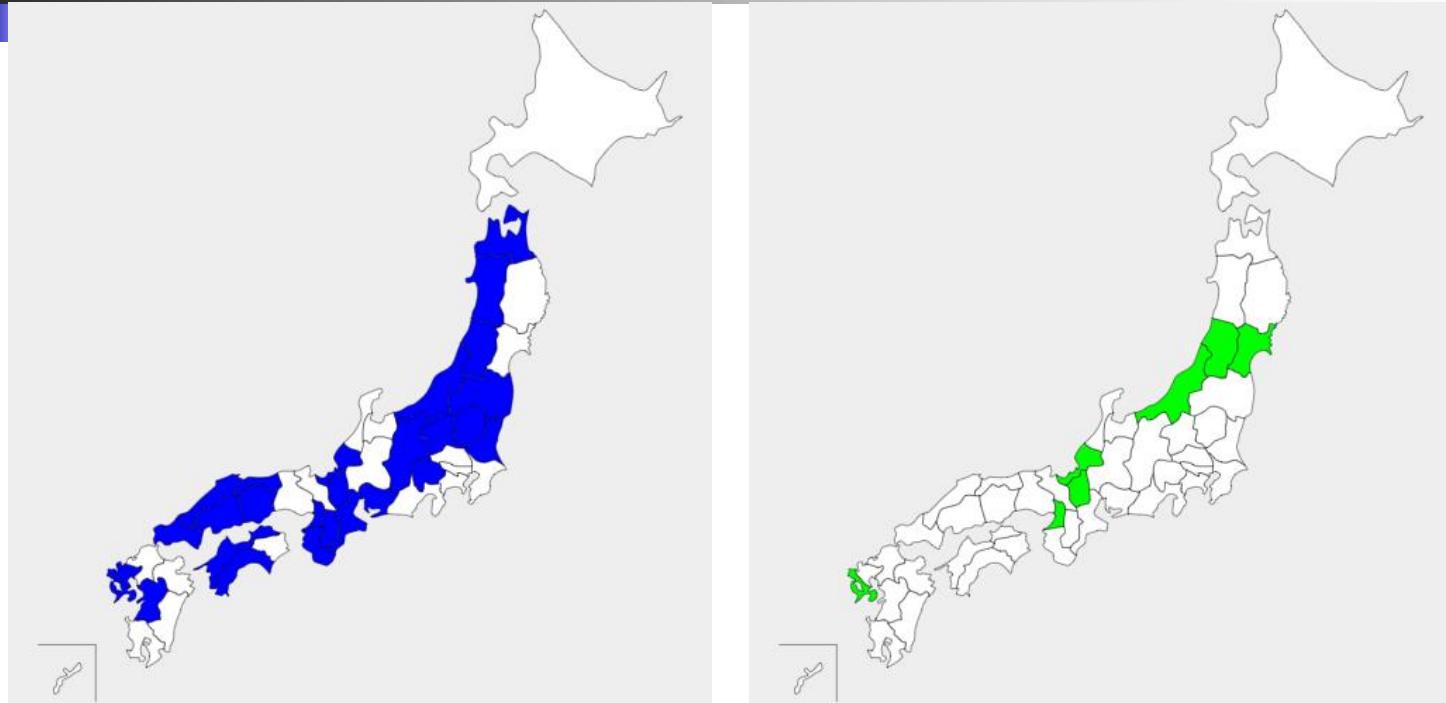
胃内視鏡、大腸内視鏡被験者と福井県がん登録を照合、偽陰性率を算定
偽陰性率は胃25.8%、大腸11.1%



全国がん登録データの利用

- データそのもので解析
- 他のデータと照合して解析
 - がん検診データ
 - DPCデータ
 - レセプトデータ
 - 院内がん登録データ、臓器がん登録データ
 - …etc.

「がん罹患率」と「生存率」



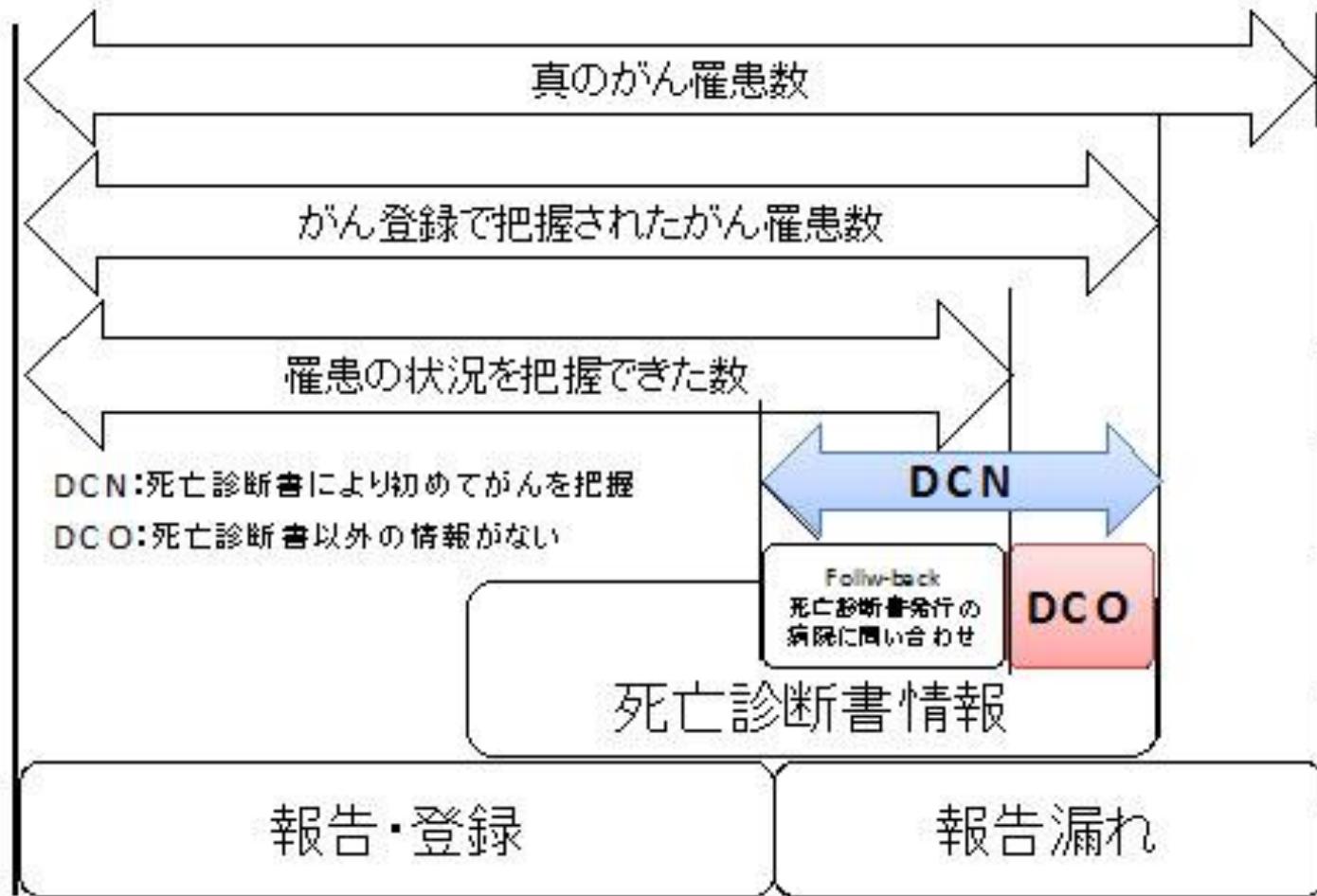
●がん罹患率は2012年診断 28県のデータで算出

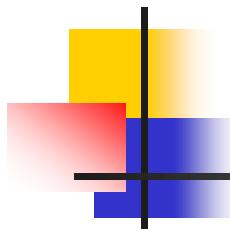
(青森/秋田/山形/福島/茨城/栃木/群馬/新潟/**福井**/山梨/長野/愛知/三重/滋賀/大阪/奈良/和歌山/鳥取/島根/岡山/広島/山口/香川/愛媛/高知/佐賀/長崎/熊本)

●生存率は2003～2005年診断 7府県のデータで算出

(宮城/山形/新潟/**福井**/滋賀/大阪/長崎)

がん登録の精度



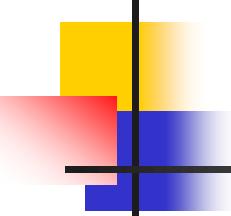


福井県がん登録の精度

年	人口	悪性新生物		届出精度		診断精度			自主的 届出登 録率 (%)
		罹患数 I	死亡数 M	DCO (%)	I / M	HV / I (%)	HV / R (%)	MV / R (%)	
S59～S61	816,570	2,682	1,368	6.8	1.96	68.4	73.4	78.3	80.6
H 5～H 7	826,065	3,408	1,690	3.8	2.02	70.5	73.3	79.9	83.2
H14～H16	825,199	4,330	2,154	3.6	2.01	68.6	71.1	79.0	84.2
H17～H19	818,405	5,040	2,251	2.6	2.24	74.8	76.8	82.8	87.6
H20～H22	807,832	5,781	2,354	2.2	2.46	79.2	79.3	84.3	89.6
H23,24	797,218	6,210	2,373	1.1	2.62	76.9	81.2	85.7	91.6

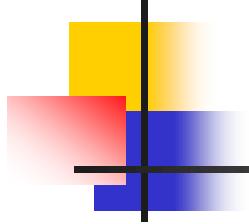
富山県がん登録の精度

年	人口	悪性新生物		届出精度		診断精度	自主的届出登録率(%)
		罹患数 I	死亡数 M	DCO (%)	I / M	MV/ R (%)	
2006	1,107,555	5,781	3,154	31.0	1.83	57.0	69.0
2007	1,102,974	7,490	3,292	23.4	2.28	58.1	76.6
2008	1,097,963	7,596	3,466	20.6	2.19	59.3	79.4
2009	1,097,432	7,966	3,349	17.6	2.38	58.4	82.4
2010	1,093,247	8,010	3,401	14.7	2.36	66.0	85.3
2011	1,087,417	7,948	3,408	13.8	2.33	65.8	86.2
2012	1,081,311	8,283	3,493	12.9	2.37	64.7	87.1



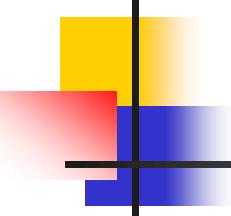
全国がん登録は

- がんの罹患を把握
- 国及び都道府県(・個人)によりデータを利用・活用
- 高い精度を保てば、いろんなことに利用可能(利用法は富山県に進言すればよい)
- 高い精度のためには、漏れのない(登録漏れ、正確さ)登録が必要



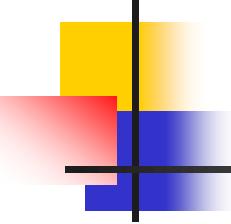
全国がん登録 —具体的な登録について

- 全国がん登録の目的
- (全国)がん登録の施設での運用方法
- 具体的ながん登録方法・事例について



いただいたご意見 —がん登録の運用方法

- 全国がん登録の人員体制、職種
- 全国がん登録のデータ提出方法
 - 全国がん登録オンラインシステム
 - オンラインシステムへの準備
- Casefinding(登録症例見つけ出し)
- 多重がん判定



がん登録の体制

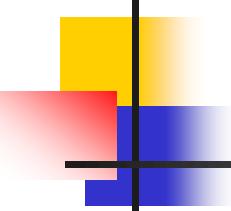
- 院内がん登録実施施設
 - 拠点病院など、年500症例以上
- 全国がん登録のみ(準拠点病院)実施施設
 - 中病院、年100症例から500症例
- 全国がん登録のみ実施施設
 - 小病院、診療所、年100症例未満

院内がん登録の推奨環境 —(拠点病院クラス)

- 電子カルテは必要、少なくともオーダリングが必要
 - 外来登録はもちろん、入院登録も漏れる
- データベースが必要
 - HosCanR、ベンダーまたは自作データベース
- 医師の登録(発生源入力)は工夫が必要
 - 医師の登録は間違いが多い
- 登録実務者(専従)による登録
 - 目安は1000症例に専従1名、医療事務レベルで可。
教育は必要
- がん登録のキーパーソン(医師)を作る
 - できれば病理医、病理に造詣の深い臨床医

全国がん登録の推奨環境 －中病院、年100-500例

- 電子カルテは必要、少なくともオーダリングが必要
 - Casefindingに用いる
- データベースが必要
 - HosCanR Lite、自作データベース
- 医師の登録(発生源入力)は工夫が必要
 - 医師の登録は間違いが多い
- 登録実務者による登録
 - 兼任で可(できれば少人数で)、医療事務レベルで可、全国がん登録マニュアル熟知が望ましい
- がん登録のキーパーソン(医師)を作る
 - がん診療に携わる医師



全国がん登録の推奨環境 —小病院、診療所、年100例未満

- 電子カルテ、オーダーリングは不要
 - その都度、1ヶ月まとめて登録候補見つけ出し
 - がん治療施行の際、死亡診断書記載時
- データベースは不要
 - HosCanR Lite、自作データベース
- 医師の登録(発生源入力)もやむを得ない
 - 登録項目の定義だけでも読んでほしい
- 登録実務者による登録
 - 下書き程度で可、登録項目定義を知る
- とにかく少数でも提出してみる
 - どんなもんかがわかる

各病院・指定された診療所 御中

厚生労働省健康局
がん・疾病対策課

がん登録オンラインシステムの構築に伴う届出対象情報の提出方法について

がん対策の推進につきましては、平素から格段の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

がん登録等の推進に関する法律（平成25年法律第111号）に基づき、病院又は指定された診療所（以下「病院等」という。）の管理者は、平成28年中に当該病院等における初回の診断を行った原発性のがんに関する届出対象情報（以下「情報」という。）を、平成29年12月31日までに都道府県知事へ届け出ることとなっております。

厚生労働省では、情報漏えいの防止や都道府県・病院等の事務負担軽減のため、病院等と都道府県をネットワークでつなぎ、オンラインで情報を届け出ることのできるシステム（以下「がん登録オンラインシステム」という。）を構築し、平成29年度から利用を開始する予定です。がん登録オンラインシステムの具体的な仕様は現在検討中ですが、インターネット回線と標準的なスペックのパソコンがあれば利用可能となります。

病院等から都道府県に対しては、隨時、情報を届け出ることができますが、がん登録オンラインシステムを活用して届出することにより、情報を安全に移送できるとともに、情報の精度向上及び事務の効率化につながると考えられることから、可能な限り平成29年度以降にがん登録オンラインシステムを活用して届出を行うよう、御協力をお願いいたします。

全国がん登録の円滑な実施のため、御理解・御協力くださいますようお願いいたします。

届出情報の提出形式



国立がん研究センターがん対策情報センター
National Cancer Center
Center for Cancer Control and Information Services

- 全国がん登録にどう対応する？

- 院内がん登録を実施

CSV提出

- 全国がん登録にデータベースで対応

CSV提出

- 全国がん登録に、紙ベースに近い業務で対応

Plus等で
対応

Lite等で
対応

ソフトを使わ
ず対応

国立がん研究センター提供

- 院内がん登録支援Hos-CanR Plus

- 全国がん登録項目対応

- 全国がん登録対応Hos-CanR Lite

- 医療機関から利用申込

- 電子届出票（pdfファイル）

がん登録

- 全国がん登録
 - 全国がん登録とは
 - 病院・診療所向け情報
 - 都道府県担当部署一覧
 - 全国がん登録 届出マニュアル 2016
 - 届出支援サイト・アプリケーションソフトウェアダウンロード
 - 全国がん登録届出支援サイト
 - Hos-CanR Liteの提供
 - よくあるご質問と回答 (FAQ)
 - 都道府県向け情報
 - 全国がん登録制度市民向け説明会
 - 郡内がん登録
 - 地域がん登録
 - がん登録とがん対策

全国がん登録とは

HOME > がん登録 > 全国がん登録 > 病院・診療所向け情報 > 届出支援サイト・アプリケーションソフトウェアダウンロード > 全国がん登録届出支援サイト

全国がん登録届出支援サイト

更新日：2016年01月04日 [更新履歴]

- 電子届出ファイル（PDFファイル）のダウンロード
- 届出申出書の作成
- 1.全国がん登録届出票による届出
- 2.院内がん登録等から抽出したCSVファイルによる届出
- お問合せ

サイトメンテナンスのお知らせ

毎週火曜日朝8時30分から9時までの間、サイトメンテナンスのため、電子届出票のダウンロードをご利用できない場合がございます。

全国がん登録電子届出ファイルの利用には、Adobe Acrobat(R) Reader(TM)が必要になります。
全国がん登録届出支援サイト及び電子届出ファイルは、以下の環境にて動作確認済みです。

- Internet Explorer 11
- Adobe Acrobat DC 及び Adobe Acrobat Reader DC



こちらからダウンロードしてください。

■電子届出ファイル（PDFファイル）のダウンロード

本ページの説明を一通りお読みになった後、ページ下部のリンクからサイトへアクセスしてください。

- 手順① 自施設の都道府県を選択します。
- 手順② 自施設の名称の一部で検索し、選択します。

全国がん登録について | 富山 | 全国がん登録届出支援サイト 全国がん登録届出支援サ × +

← → ⌂ ncr.ncc.go.jp/enotification

☆ Web スライス ギャラリー ▶ おすすめサイト

全国がん登録届出支援サイト

当サイトは「がん登録推進法」に基づく届出を安全かつ効率的に行うための電子届出ファイルを配布しています。

電子届出ファイルのダウンロード

1 都道府県を選択してください

18 福井県 ▾

2 病院・診療所を選択してください

福井県立病院

福井県立病院

次へ

ダウンロードがうまくできないとき

E-mail : canreg_sys @ ml.res.ncc.go.jp

迷惑メール防止のために@の前後にスペースが入っております。
スマートフォンやタブレットでメールを読む場合、メールアドレスの
フッテージが「@」の前にスペースが付いてしまうことがあります。

該当の病院・診療所がないとき
または、がん登録に関するお問い合わせ

都道府県担当部署一覧へ



何でも聞いてください



10:37
2017/01/12

全国がん登録届出支援サイト



国立がん研究センターがん対策情報センター
National Cancer Center
Center for Cancer Control and Information Services

The screenshot shows a Windows desktop with a browser window open to the 'National Cancer Center Cancer Registration Submission Support Site'. The page title is '電子届出ファイルのダウンロード' (Download of Electronic Submission File). It includes instructions for entering a password, a password field with masked input, and a note about password requirements. Step 3 indicates to click the download button. A large blue arrow on the left points to the download button, labeled 'ダウンロードします' (I will download).

電子届出ファイルのダウンロード

東京都
国立研究開発法人国立がん研究センター 中央病院

1 任意のパスワードを入力してください

パスワード条件
8文字以上の長さ / 英字を含む / 数字を含む / 特殊記号を含む

※このパスワードはダウンロード後にファイルを開く際に必要となりますので、
紛失しないように大切に保管願います。

2 確認のため、同じパスワードを再度入力してください

3 ダウンロードボタンを押してください

ダウンロード

前ページへ戻る

Copyright (C) 2015 国立研究開発法人国立がん研究センター

pdfを保存するパスワードを入力します
(Acrobat Reader が必要です)

セキュリティ強固な条件を満足するパスワードのみ設定可能です。

パスワードの確認をします

NCR_ENTRY.pdfで行う操作を選んでください。

サイズ: 11.3 MB
サイト: NCR_EN

ファイル名称は自動発行されます
変更せずに、保存してください

開く(O)

ファイルは自動保存されません。

保存(S)

名前を付けて保存(A)

キャンセル

ファイル 編集 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ホーム ツール

福井県立病院_届...

? サインイン



<<チェックが完了していません>>
右下の「確定」ボタンを押してください

全国がん登録 届出申出書

届出種別を選択してください

届出種別	<input checked="" type="checkbox"/> 届出票	<input type="checkbox"/> CSVファイル添付
------	---	------------------------------------

電子届出ファイルの使い方

■届出票

- 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
- 届出票に情報を入力してください
※最大10件まで入力できます
- 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください

■CSVファイル添付

- 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
- CSVファイルを添付してください
- 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください

病院・届出担当者情報を入力してください

都道府県 病院等の名称	福井県 福井県立病院
病院等の所在地	福井市四ツ井2-8-1
管理者氏名	村北和広
届出担当者氏名	海崎泰治
届出担当者電話番号	0776-54-5151
届出担当者メールアドレス	
届出担当者FAX	
届出件数	
添付ファイル件数	
添付ファイル内件数	
コメント	

(全半角256文字)

初期化

確定



何でも聞いてください

10:38
2017/01/12

ホーム ツール

福井県立病院_届...

② サインイン



チェックすると入力できるようになります

 全国がん登録届出票①

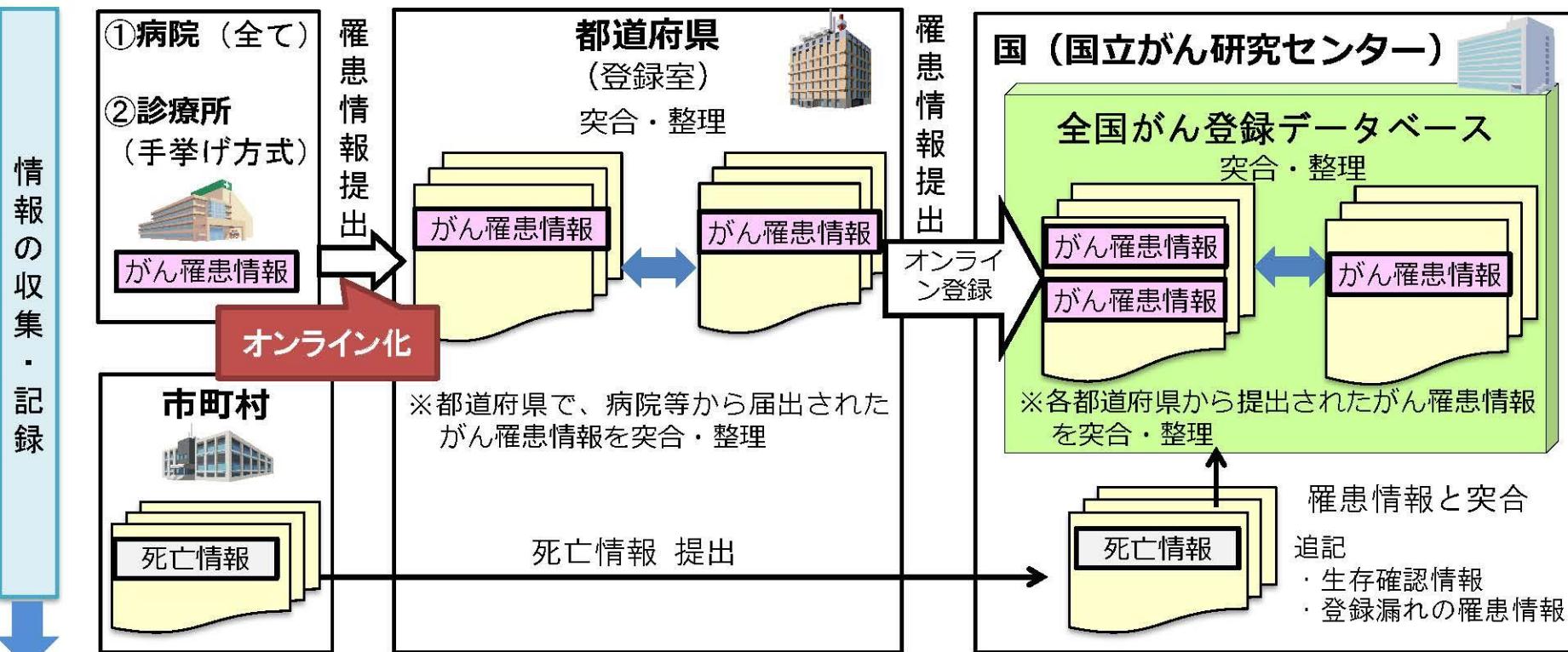
①病院等の名称	福井県福井県立病院								
②診療報番号	(全半角16文字)								
③カナ氏名	シ	(全角カナ10文字)	メイ	(全角カナ10文字)					
④氏名	氏	(全角10文字)	名	(全角10文字)					
⑤性別	<input type="checkbox"/> 1.男性	<input type="checkbox"/> 2.女性							
⑥生年月日	<input type="checkbox"/> 0.西暦	<input type="checkbox"/> 1.明治	<input type="checkbox"/> 2.大正	<input type="checkbox"/> 3.昭和	<input type="checkbox"/> 4.平成	年	月	日	
⑦診断時住所	(全半角40文字)								
腫瘍の種類	⑧側性	<input type="checkbox"/> 1.右	<input type="checkbox"/> 2.左	<input type="checkbox"/> 3.両側	<input type="checkbox"/> 7.側性なし	<input type="checkbox"/> 9.不明			
	⑨部位								
	⑩大分類								
	⑪詳細分類								
	⑫病理診断								
診断情報	⑬診断施設	<input type="checkbox"/> 1.自施設診断	<input type="checkbox"/> 2.他施設診断						
		<input type="checkbox"/> 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明							
		<input type="checkbox"/> 2.自施設で初回治療を開始							
		<input type="checkbox"/> 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続							
		<input type="checkbox"/> 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診							
		<input type="checkbox"/> 8.その他							
進行度	⑭診断結果	<input type="checkbox"/> 1.原発巣の組織診	<input type="checkbox"/> 2.転移巣の組織診	<input type="checkbox"/> 3.細胞診					
		<input type="checkbox"/> 4.部位特異的腫瘍マーカー	<input type="checkbox"/> 5.臨床検査	<input type="checkbox"/> 6.臨床診断	<input type="checkbox"/> 9.不明				
		<input type="checkbox"/> 0.西暦	<input type="checkbox"/> 4.平成	年	月	日			
		⑮観察経緯	<input type="checkbox"/> 1.がん検診・健診診断・人間ドックでの見見例	<input type="checkbox"/> 3.他疾患の経過観察中の偶然発見					
		<input type="checkbox"/> 4.剖検発見	<input type="checkbox"/> 8.その他	<input type="checkbox"/> 9.不明					
		⑯進展度・治療前	<input type="checkbox"/> 400.上皮内	<input type="checkbox"/> 410.腺局	<input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移	<input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤			
初回治療	⑰進展度・術後病理学的	<input type="checkbox"/> 440.遠隔転移	<input type="checkbox"/> 777.該当せず	<input type="checkbox"/> 499.不明					
		<input type="checkbox"/> 400.上皮内	<input type="checkbox"/> 410.腺局	<input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移	<input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤				
		<input type="checkbox"/> 440.遠隔転移	<input type="checkbox"/> 660.手術なし・術前治療後	<input type="checkbox"/> 777.該当せず	<input type="checkbox"/> 499.不明				
		⑱外科的	<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明				
		⑲鏡視下	<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明				
		⑳内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし	<input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明				
その他治療	㉑観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1.原発巣切除	<input type="checkbox"/> 4.姑息的観血的治療	<input type="checkbox"/> 6.観血的治療なし	<input type="checkbox"/> 9.不明				
		<input type="checkbox"/> 2.姑息的観血的治療	<input type="checkbox"/> 3.姑息的観血的治療	<input type="checkbox"/> 5.観血的治療なし	<input type="checkbox"/> 7.観血的治療なし				
		<input type="checkbox"/> 1.放射線療法	<input type="checkbox"/> 2.放射線療法	<input type="checkbox"/> 4.化学療法	<input type="checkbox"/> 6.化学療法	<input type="checkbox"/> 8.放射線療法	<input type="checkbox"/> 10.化学療法	<input type="checkbox"/> 12.観血的治療	
		<input type="checkbox"/> 2.化学療法	<input type="checkbox"/> 3.化学療法	<input type="checkbox"/> 5.内分泌療法	<input type="checkbox"/> 7.内分泌療法	<input type="checkbox"/> 9.内分泌療法	<input type="checkbox"/> 11.放射線療法	<input type="checkbox"/> 13.化学療法	
		㉒内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1.内分泌療法	<input type="checkbox"/> 2.内分泌療法	<input type="checkbox"/> 4.内分泌療法	<input type="checkbox"/> 6.内分泌療法	<input type="checkbox"/> 8.内分泌療法	<input type="checkbox"/> 10.内分泌療法	
		㉓その他治療	<input type="checkbox"/> 1.その他治療	<input type="checkbox"/> 2.その他治療	<input type="checkbox"/> 4.その他治療	<input type="checkbox"/> 6.その他治療	<input type="checkbox"/> 8.その他治療	<input type="checkbox"/> 10.その他治療	
㉔死亡日	<input type="checkbox"/> 0.西暦	<input type="checkbox"/> 4.平成	年	月	日				
備考	(全半角128文字)								



がん登録オンラインシステム

- がん登録推進法において、病院等はがんの患者を診断した際、罹患、診療、転帰等に関する情報を都道府県に届け出て、都道府県はがん罹患情報の突合及び整理を行い、国に提出することとなっている。
- 現状では、病院等は電子媒体や紙媒体を都道府県に提出し、都道府県はそれらを元に全国がん登録データベースへ入力する作業が必要。また、情報の移送における紛失、盗難等の懼れがあり、ウイルス感染、情報漏えいのリスクが高い。
- そこで、病院等と都道府県をネットワークでつなぎ、オンラインで情報を届け出ることのできるシステムを構築することで、届出情報を安全に移送するとともに、登録情報の精度向上及び事務の効率化を図る。

※都道府県から国への届出においてはオンライン登録の仕組みを構築済み ※国立がん研究センターへ委託 ※平成29年度から運用開始予定



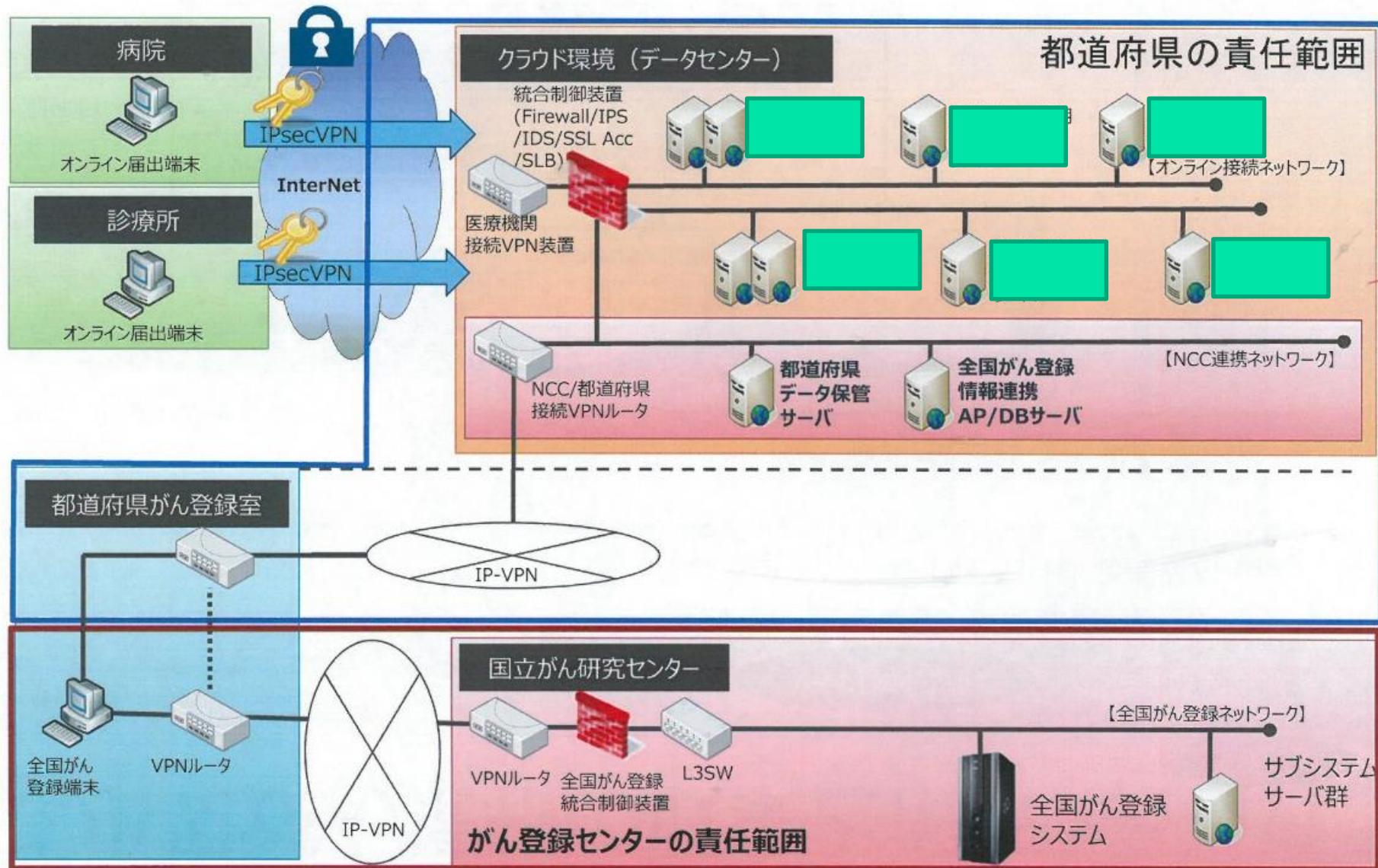
※医療機関の管理者は、がん登録推進法で、がん罹患情報を都道府県知事に届け出ることが義務付けられている

国・都道府県等 ⇒ がん対策の充実、医療機関への情報提供、統計等の公表、患者等への相談支援

医療機関 ⇒ 患者等に対する適切な情報提供、がん医療の分析・評価等、がん医療の質の向上

がん登録等の情報の提供を受けた研究者 ⇒ がん医療の質の向上等に貢献

全国がん登録オンライン届出（案）



届出情報の提出形式



国立がん研究センターがん対策情報センター
National Cancer Center
Center for Cancer Control and Information Services

- 全国がん登録にどう対応する？
 - 院内がん登録を実施
 - 全国がん登録にデータベースで対応
 - 全国がん登録に、紙ベースに近い業務で対応

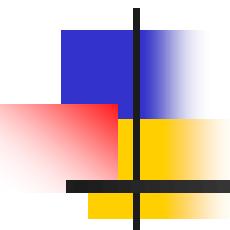
国立がん研究センター提供

- 院内がん登録支援Hos-CanR Plus
 - 全国がん登録項目対応
- 全国がん登録対応Hos-CanR Lite
 - 医療機関から利用申込
- 電子届出票（pdfファイル）

そのまま移行可

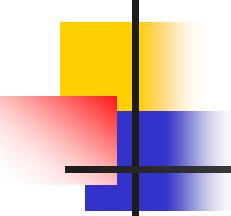
そのまま移行可

移行の可否は不明
→データは残る



福井県立病院における ケースファインディングの実際

福井県立病院
海崎泰治



福井県立病院でのCasefinding

- 病名オーダ
- 病理・細胞診システム
- 抗がん剤オーダ
- 放射線治療システム
- 内視鏡システム
- 死亡診断書
- 退院要約

福井県立病院でのCasefinding —病名オーダー

- 病名オーダーでICD-10コードを抽出

- C全部とD00－D09

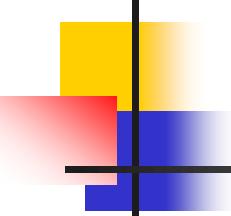
- 性状不詳
Dコード

- 「疑い」は
不要

登録候補一覧情報										
	患者番号	患者氏名	臓器名	発生源システム	固有情報	科	主治医	発生日	△	
登録候補		患者編集_リハバ筋NOS	病名オーダー	C844未梢性下細胞リハバ腫	血液内科	河合 泰二	2011/06/20			
登録候補		患者編集_網膜	病名オーダー	C692右網膜芽細胞腫	眼科	宮下 洋亮	2011/06/20			
登録候補		患者編集_脳膜NOS	病名オーダー	D029右中頸蓋富くも膜のう腫	脳脊髄外科	勝藤 弘範	2011/06/21			
登録候補		患者編集_体幹の皮膚	病名オーダー	C445腹膜隆起性皮膚線維肉腫	形成外科	小泉 尚子	2011/06/21			
登録候補		患者編集_上葉肺	病名オーダー	C341上葉肺癌	呼吸器内科	小嶋 徹	2011/06/21			
登録候補		患者編集_子宮頸	病名オーダー	C539子宮頸癌	婦人科	景利 麻由	2011/06/21			
登録候補		患者編集_乳房上外側4分の1	病名オーダー	C504左乳房上外側部乳癌	外科	伊藤 朋子	2011/06/22			
登録候補		患者編集_原発部位不明	病名オーダー	C787転移性肝腫瘍	外科	道傳 研司	2011/06/22			
登録候補		患者編集_リハバ筋NOS	病名オーダー	C559腎生リハバ腫	血液内科	根来 英樹	2011/06/22			
登録候補		患者編集_膀胱側壁	病名オーダー	C672膀胱側壁部膀胱癌	泌尿器科	小林 忠博	2011/06/23			
登録候補		患者編集_胃NOS	病名オーダー	C169胃癌	総合内科	上田 直和	2011/06/23			
登録候補		患者編集_結腸NOS	病名オーダー	C189大腸癌	外科	田村 昌也	2011/06/23			
登録候補		患者編集_骨髄	病名オーダー	D469骨髄異形成症候群	血液内科	羽場 利博	2011/06/24			
登録候補		患者編集_前立腺	病名オーダー	C61前立腺癌	泌尿器科	平田 昭夫	2011/06/24			
登録候補		患者編集_原発部位不明	病名オーダー	C780右肺中葉転移性肺腫瘍	外科	清水 陽介	2011/06/24			
登録候補		患者編集_骨髄	病名オーダー	D469骨髄異形成症候群	血液内科	河合 泰二	2011/06/24			
登録候補		患者編集_上葉肺	病名オーダー	C341上葉肺癌	二次検査(呼吸器科)	小嶋 徹	2011/06/24			
登録候補		患者編集_前立腺	病名オーダー	C61前立腺癌	泌尿器科	平田 昭夫	2011/06/24			
登録候補		患者編集_胃体部	病名オーダー	C162胃体部癌	外科	浅海 吉傑	2011/06/24			
登録候補		患者編集_リハバ筋NOS	病名オーダー	C544未梢性下細胞リハバ腫	血液内科	羽場 利博	2011/06/24			
登録候補		患者編集_下葉肺	病名オーダー	C343下葉肺癌	外科	田村 昌也	2011/06/24			
登録候補		患者編集_腎NOS	病名オーダー	C64右腎細胞癌	泌尿器科	平田 昭夫	2011/06/24			
登録候補		患者編集_直腸NOS	病名オーダー	C20直腸癌術後再発		高松 繁行	2011/06/24			
登録候補		患者編集_肺NOS	病名オーダー	C349肺腺様のう胞癌	血液内科	河合 泰二	2011/06/24			
登録候補		患者編集_肺NOS	病名オーダー	C349原発性肺癌		高松 繁行	2011/06/24			
登録候補		患者編集_肺頭部	病名オーダー	C250肺頭部癌		橋爪 孝夫	2011/06/24			
登録候補		患者編集_前立腺	病名オーダー	C61前立腺癌		山本 和高	2011/06/24			
登録候補		患者編集_肺NOS	病名オーダー	C349原発性肺癌		森永 浩次	2011/06/24			
登録候補		患者編集_乳房上外側4分の1	病名オーダー	C504左乳房上外側部乳癌		伊藤 朋子	2011/06/24			
登録候補		患者編集_脾NOS	病名オーダー	C259脾癌		熊本 優子	2011/06/24			

福井県立病院でのCasefinding —病理・細胞診

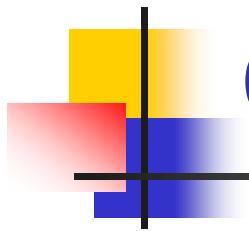
- 各システムより悪性腫瘍患者を抽出
 - ↓
- CSV形式にて電子媒体経由で、
がん登録システムに取込
 - ↓
- 既登録、登録候補と照合
 - ↓
- 登録漏れ症例を登録



Casefindingについての検討

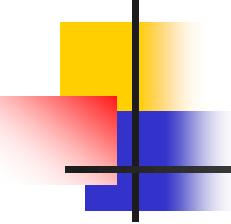
(方法)

- 2004年5月から10月まで病名オーダーのみでCasefinding
- その後、病理・細胞診、抗がん剤、放射線治療、内視鏡診断のデータと既登録のデータを照合
- Casefindingの効率を確認



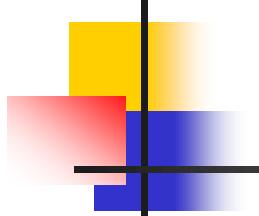
Casefindingについての検討

	症例数	登録追加数
抗がん剤(内服)	370	0
抗がん剤(注射)	1269	1
病理診断	627	31
細胞診	168	9
放射線治療	113	2
内視鏡診断	121	0
追加総数	—	43



Casefinding 一まとめ

- 総合病院はがん患者ばかりでない
→Casefindingが重要
- Casefindingは**病名オーダ**が基本
- 登録漏れを防ぐためには、**病理・細胞診診断データ**の補充は必須
- 余力があれば、抗がん剤、放射線治療、内視鏡診断などの追加で盤石



多重がんの用語 (がん登録における)

- **単発**: 1つの原発とすべき腫瘍
- **多重**: がん登録されるべき2個以上の独立した原発腫瘍
- **多発**: 2カ所以上に生じた複数の腫瘍

届出の必要な患者



国立がん研究センターがん対策情報センター
National Cancer Center
Center for Cancer Control and Information Services

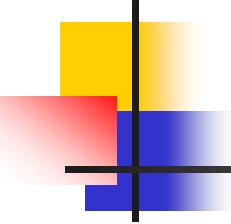
● 多重がん

1腫瘍 1 登録
(1 患者 1 登録ではない)

- 当該病院等において、ある患者について、過去に届出をした原発性のがんとは異なる原発性のがん（多重がん）を初めて診断及び／又は治療等の診療行為を行った場合、届出が必要です。

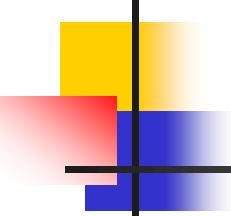
● 届出の不要な患者

- 当該病院等が過去に届出をした原発性のがんから転移又は再発したがんに対して、同病院等で診断及び／又は治療等の診療行為を行った場合、改めて届け出る必要はありません。



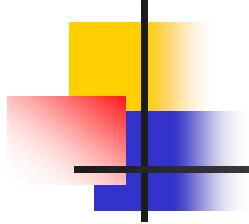
多重がん判定

- 院内がん登録では、SEER 2007の多重がん定義を用いる
 - 臓器別、臓器毎に10以上のルールがあり煩雑
- 医師の「再発」には注意
 - 多重がんの可能性あり



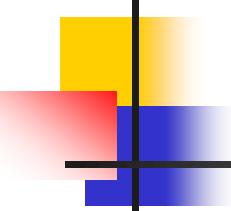
多重がん判定ルール(簡略型)

- 臓器毎に別部位(多重)とみなす
- (離れた)左右臓器は別部位(多重)とみなす
 - 肝臓、甲状腺などは全体で1臓器扱い
- 臓器の亜部位は同一部位発生(単発)とみなす
 - 例外(亜部位毎に別部位): 大腸、骨・関節、皮膚、末梢神経、皮下組織・軟部組織
- 組織型が異なれば別腫瘍(多重)とみなす
 - 腺癌 vs 扁平上皮癌 など
- 複数腫瘍の診断が2カ月以上離れていれば、多重とみなす
- 迷った場合は、(全国がん登録の場合)多重として登録する



全国がん登録 —具体的な登録について

- 全国がん登録の目的
- (全国)がん登録の施設での運用方法
- 具体的ながん登録方法・事例について



いただいたご意見 —具体的な登録

- 具体的な登録例
- 登録を間違った例
- 実務者でも理解しやすく
 - 医学用語は最低限の理解が必要
- 病院と診療所の違い
 - 治療施設と診断施設の違い
- 5大がん以外の登録・疾患別の注意点
 - TNMを入力しないので、省略
- 病理報告書の読み方
- ICD-O3 局在・病理コード

全国がん登録届出マニュアル ホームページ

がん情報サービス
ganjoho.jp

 がん登録・統計

サイトマップ お問い合わせ

検索

[がん登録](#) [統計](#) [がん対策](#)

[がん登録](#)

→ 全国がん登録

- [全国がん登録とは](#)
- [病院・診療所向け情報](#)
- [都道府県担当部署一覧](#)
- [よくあるご質問と回答\(FAQ\)](#)
- [**全国がん登録 届出マニュアル 2016**](#)
- [届出支援サイト・アプリケーションソフトウェアダウンロード](#)
- [全国がん登録制度市民向け説明会](#)

→ 院内がん登録

→ 地域がん登録

→ がん登録とがん対策

[HOME](#) > [がん登録](#) > [全国がん登録](#) > [病院・診療所向け情報](#) > [全国がん登録 届出マニュアル 2016](#)

全国がん登録 届出マニュアル 2016

更新日：2016年06月17日 [[更新履歴](#)]

「全国がん登録 届出マニュアル 2016」は、がん登録等の推進に関する法律（法律第111号、平成25年12月13日公布）が定める、病院等（※）の管理者が、原発性のがんについて、当該病院などの所在地の都道府県知事に届け出る情報の作成にあたり必要な事項をまとめたものです。

※病院等とは、本法においては、病院または本法の規定に基づき指定された診療所のことをいいます。

- [全国がん登録 届出マニュアル 2016 \(修正済み\)](#)
 [全国がん登録 届出マニュアル2016 \(修正済み\) \(PDF:5,069KB\)](#)
- [修正履歴](#)
 [修正履歴 \(PDF:140KB\)](#)

届出の必要ながんの種類



1. 悪性新生物及び上皮内癌 悪性腫瘍
2. 髓膜又は脳、脊髄、脳神経その他の中権神経系に発生した腫瘍（前号に該当するものを除く。）脳・脊髄腫瘍は良性も登録
3. 卵巣腫瘍（次に掲げるものに限る。）
 - 境界悪性漿液性乳頭状のう胞腫瘍
 - 境界悪性漿液性のう胞腺腫
 - 境界悪性漿液性表在性乳頭腫瘍
 - 境界悪性乳頭状のう胞腺腫
 - 境界悪性粘液性乳頭状のう胞腺腫
 - 境界悪性粘液性のう胞腫瘍
 - 境界悪性明細胞のう胞腫瘍卵巣上皮性境界悪性腫瘍も登録
4. 消化管間質腫瘍（第1号に該当するものを除く。）いわゆるGIST
すべてのriskを含む

届出の必要な患者



- 登録対象は

「受診」

- 入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍について初診し、診断及び／又は治療等の対象となった腫瘍が届出の対象となる

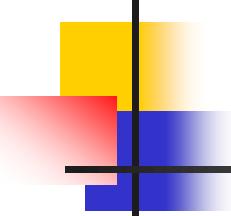
- 診断とは

病理診断だけではない

1腫瘍1登録

- 当該患者の「がん」について、治療または無治療経過観察を行う以前に行つた診療行為
 - 画像診断、血液検査、尿検査、肉眼的診断、及び臨床診断を含む

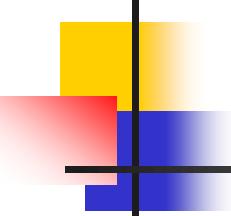
転移又は再発の段階で当該病院等における治療または無治療経過観察が行われた場合を含む。この場合、転移又は再発に関する情報ではなく、原発性のがんに関する情報を届け出る。



届出が必要な患者－補足

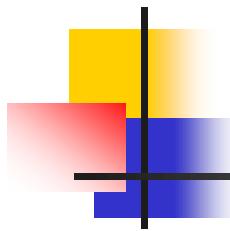
■ 初発

- 病理診断でがん確定→ **届出必要**
- 画像診断などでがん疑い(病理診断なし)
 - 拠点病院等に転院
 - **届出不要**(がん確定せず)
 - 自院で治療
 - **届出必要**(がんの治療開始)
 - 自院で無治療経過観察(がんのICあり)
 - **届出必要**(がん確定扱い)
 - 自院で経過観察(ICなし、画像経過観察)
 - **届出不要**(がん確定せず)



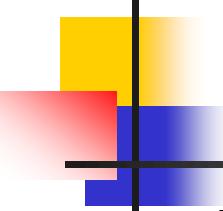
届出が必要な患者－補足

- 再発、治療後経過観察
(自施設で届出なし)
 - がんについて治療 → **届出必要**
 - がんについて経過観察 → **届出必要**
 - がん以外で経過観察(がんは他院で)
→ **届出不要**



届出が必要な患者ー補足

- 死亡診断書をしつかり記載する
 - 主病名・副病名に**がんの既往**を記載する
- 遷り調査に協力する



全国がん登録 登録項目

1	病院等の名称	16	進展度・治療前
2	診療録番号	17	進展度・術後病理学的
3	カナ氏名	18	外科的治療の有無
4	氏名	19	鏡視下治療の有無
5	性別	20	内視鏡的治療の有無
6	生年月日	21	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲
7	診断時住所	22	放射線療法の有無
8	側性	23	化学療法の有無
9	原発部位	24	内分泌療法の有無
10	病理診断	25	その他の治療の有無
11	診断施設	26	死亡日
12	治療施設		
13	診断根拠		
14	診断日		
15	発見経緯		

患者基本情報

1	病院等の名称	
2	診療録番号	
3	カナ氏名	
4	氏名	外字に注意
5	性別	1 男 2 女
6	生年月日	日付の不明は99999999
7	診断時住所	

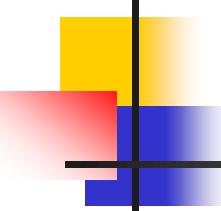
腫瘍情報

側性のある臓器は
マニュアルに記載あり

8	側性	1 右側 2 左側 3 両側 7 側性なし 9 不明(原発側不明を含む)
9	原発部位	テキスト又は ICD-O-3 局在コードによる提出
10	病理診断	テキスト又は ICD-O-3 形態コードによる提出

原発部位、病理診断のリストが
マニュアルにあり（巻末付録2, 3）

原発部位を記載
(転移巣は記載しない)



側性のある臓器

■ マニュアルp29

側性のある臓器

唾液腺(耳下腺・顎下腺・舌下腺)、扁桃(扁桃窩、扁桃口蓋弓など)

鼻腔・中耳、耳・外耳道の皮膚、副鼻腔の一部(上顎洞、前頭洞)

主気管支・肺、胸膜

眼瞼の皮膚、その他の顔面の皮膚、体幹の皮膚、

上肢の皮膚・末梢神経(肩甲部含む)、下肢の皮膚・末梢神経(股関節部含む)

上肢・肩甲骨の骨、下肢の骨、肋骨・鎖骨など、骨盤骨など

上肢・肩の軟部組織、下肢・股関節部の軟部組織

乳房、卵巣・卵管、精巣・副睾丸

腎・腎孟・尿管、眼球・涙腺、副腎・頸動脈小体

■ これで多重がん判定を行う

腫瘍情報

11	診断施設	1 自施設診断 2 他施設診断
12	治療施設	1 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介又はその後の経過不明 2 自施設で初回治療を開始 3 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 4 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 8 その他
13	診断根拠	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー 5 臨床検査 6 臨床診断 9 不明
14	診断日	自施設診断日又は当該腫瘍初診日
15	発見経緯	1 がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 3 他疾患の経過観察中の偶然発見 4 剖検発見 8 その他 9 不明



病理診断以外でも可

- 診断施設

「がん」と診断された（陽性であった）検査を、他施設での検査も含めて時系列に並べたときに、最も確からしい検査（最も確からしい検査が複数回行われている場合、より早い日に行われた検査）が

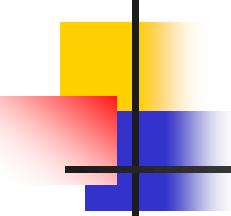
- 自施設に受診後に実施された場合
- 自施設に受診前に実施された場合

自施設診断

他施設診断

- 1 原発巣の組織診
- 2 転移巣の組織診
- 3 細胞診
- 4 部位特異的腫瘍マーカー (AFP、HCG、VMA、免疫グロブリンの高値)
- 5 臨床検査
- 6 臨床診断
- 9 不明

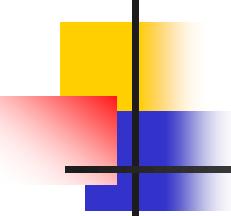
- 診断日
 - 1.自施設診断のときは自施設診断日
 - 2.他施設診断のときは当該腫瘍初診日
 - 自施設診断日
 - 項目「診断施設」が「1 自施設診断」のとき、「がん」と診断された検査のうち、最も確からしい検査の検査日
 - 生前に存在が疑われていなかったがんが死体解剖によりはじめて診断された場合は、死亡日を自施設診断日とする。
 - 当該腫瘍初診日
 - 項目「診断施設」が「2 他施設診断」のとき、当該がんの診断や治療のために、初めて患者が自施設を受診した日。



演習問題（診断日・自施設診断日）

- 75歳男性。2015年5月より糖尿病、高血圧にて自施設受診中。症状はないが、胃内視鏡を勧めたところ2016/6/2胃内視鏡施行。6/9生検病理診断にてGroup 5（腺癌）の診断。6/16福井県立病院に手術目的で紹介した。

- (自施設診断日) 20160602
- 診断日 20160602



演習問題（診断日・当該腫瘍初診日）

- 75歳男性。2016/6/15胃癌にて福井県立病院にて手術。術後化学療法目的で、自施設に紹介。紹介状を持参して、7/12来院された。
 - (当該腫瘍初診日) 20160712
 - 診断日 20160712

- 診断根拠 患者の経過全体で（他院も含む）

“がん”と診断する根拠となった最も確かな検査 生検含む
最も確かな検査とは以下のうち、~~もっとも数字の小さい検査~~

- 1 原発巣の組織診陽性（病理組織診によるがんの診断）
- 2 転移巣の組織診陽性（病理組織診によるがんの診断）
- 3 細胞診陽性（病理組織診ではがんの診断無し）
- 4 部位特異的腫瘍マーカー※（によるがんの診断）
- 5 臨床検査（画像診断も含む）（によるがんの診断）
- 6 臨床診断（によるがんの診断）
- 9 不明

※ AFP、HCG、VMA、免疫グロブリンの4マーカー限定

- 治療施設

当該がんの初回治療をどの施設で開始、実施したかを判断する。

初回治療については、診療計画等に記載された当該がんの縮小・切除を意図した治療や無治療の場合は経過観察という行為とする。

1 自施設で初回治療をせず、

診断のみで紹介した症例

・逃げた症例

他施設に紹介又はその後の経過不明

2 自施設で初回治療を開始

前医で計画されていた
治療を施行・継続した
場合

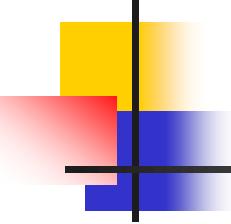
3 他施設で初回治療を開始後に、

自施設に受診して初回治療を継続

4 他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診

8 その他

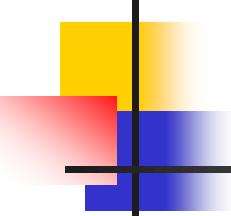
再発症例、
経過観察を依頼された症例



演習問題

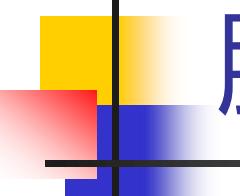
- 75歳男性。2015年5月より糖尿病、高血圧にて自施設受診中。症状はないが、胃内視鏡を勧めたところ2016/6/2胃内視鏡施行。6/9生検病理診断にてGroup 5（腺癌）の診断。6/16福井県立病院に手術目的で紹介した。

- 診断根拠 1 原発巣の組織診陽性
- 治療施設 1 自施設で初回治療をせず、
 他施設に紹介又はその後の経過不明



演習問題

- 75歳男性。2016/6/15胃癌にて福井県立病院にて手術。術後化学療法目的で、自施設に紹介。紹介状を持参して、7/12来院された。
-
- | | |
|--------|---------------------------|
| ■ 診断根拠 | 1 原発巣の組織診陽性 |
| ■ 治療施設 | 4 他施設で初回治療を終了後に
自施設を受診 |



腫瘍情報

16

進展度・治療前

400 上皮内
410 限局
420 所属リンパ節転移
430 隣接臓器浸潤
440 遠隔転移
777 該当せず
499 不明

17

進展度・術後病理学的

400 上皮内
410 限局
420 所属リンパ節転移
430 隣接臓器浸潤
440 遠隔転移
660 手術なし又は術前治療後
777 該当せず
499 不明

届出項目の概説（進展度）



- 進展度 下に行くほど「進行」

がんが原発巣からどこまで拡がっているかを分類する最も基本的ながんの病期の分類方法

進展度は、5つの主な区分からなります。

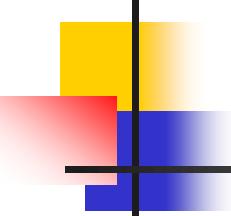
- 上皮内 上皮の基底膜を越えない
- 限局 臓器を越えない
- 所属リンパ節転移 原発臓器を越えず、リンパ節転移あり
- 隣接臓器浸潤 原発臓器を越える（消化管は漿膜浸潤）
- 遠隔転移 他臓器への転移、離れたリンパ節転移

- 進展度区分の定義適用の例外
 - 悪性リンパ腫とカポジ肉腫

進展度



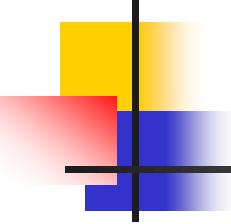
区分		治療前	術後病理学的
400	上皮内	手術前の検査で判断 (前医の情報でわかる場合も記載)	手術標本の病理診断で判断 (前医の情報でわかる場合も記載)
410	限局		
420	所属リンパ節転移		
430	隣接臓器浸潤		
440	遠隔転移		
660	手術なし又は術前治療後	区分なし	手術が自施設で行われなかつた場合に適用 進展度・治療前の診断後、手術の前に、初回の治療が開始された場合に適用
777	該当せず	白血病、多発性骨髓腫（局在コードがC42.0又はC42.1）の場合に適用	
499	不明	原発巣が不明（局在コードがC80.9）の場合に適用	



演習問題

- 75歳男性。胃体部癌と診断。腫瘍は漿膜下層にまで浸潤している。CTにてリンパ節転移なし。
- 幽門側胃切除施行。病理でpT3 (SS), N1, M0であった。

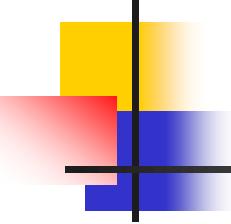
- 進展度・治療前 410 限局
- 進展度・術後病理学的 420 所属リンパ節転移



演習問題

- 70歳男性。右上葉肺癌。CTにて胸壁に浸潤する腫瘍。リンパ節転移なし。
- 右肺上葉切除、胸壁合併切除施行。病理にて、胸壁浸潤あり。肺門部リンパ節転移あり。

- 進展度・治療前 430 隣接臓器浸潤
- 進展度・術後病理学的 430 隣接臓器浸潤



演習問題

- 50歳女性。貧血で来院。骨髄生検で急性骨髓性白血病と診断。
- 化学療法を行った。

- 進展度・治療前 777 該当せず
- 進展度・術後病理学的 777 該当せず

自施設で施行した
初回治療のみを「有り」

初回治療情報

18	外科的治療の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
19	鏡視下治療の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
20	内視鏡的治療の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
21	外科的・鏡視下・ 内視鏡的治療の範囲	1 原発巣切除 4 姑息的な観血的治療 6 観血的治療なし 9 不明
22	放射線療法の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
23	化学療法の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
24	内分泌療法の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
25	その他の治療の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明

内視鏡使用しない

腹腔鏡など

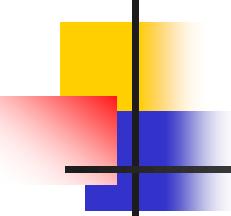
胃内視鏡など

取り残しなし

取り残しあり

腫瘍縮小目的のみ

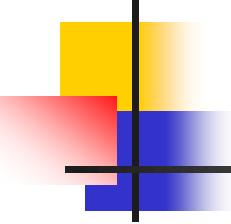
腫瘍の種類	⑧側性		<input type="checkbox"/> 1.右 <input type="checkbox"/> 2.左 <input type="checkbox"/> 3.両側 <input type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明		
	⑨原発部位	大分類			
		詳細分類			
	⑩病理診断	組織型・性状			
診断情報	⑪診断施設		<input type="checkbox"/> 1.自施設診断 <input type="checkbox"/> 2.他施設診断		
	⑫治療施設		<input type="checkbox"/> 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明		
			<input type="checkbox"/> 2.自施設で初回治療を開始		
			<input type="checkbox"/> 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続		
			<input type="checkbox"/> 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診		
					<input type="checkbox"/> 8.その他
	⑬診断根拠		<input type="checkbox"/> 1.原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2.転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3.細胞診 <input type="checkbox"/> 4.部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5.臨床検査 <input type="checkbox"/> 6.臨床診断 <input type="checkbox"/> 9.不明		
	⑭診断日		<input type="checkbox"/> 0.西暦 <input type="checkbox"/> 4.平成 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日		
	⑮発見経緯		<input type="checkbox"/> 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3.他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4.剖検発見 <input type="checkbox"/> 8.その他 <input type="checkbox"/> 9.不明		
進行度	⑯進展度・治療前		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明		
	⑰進展度・術後病理学的		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 660.手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明		
初回治療	⑱外科的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
	⑲鏡視下		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
	⑳内視鏡的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
	㉑観血的治療の範囲		<input type="checkbox"/> 1.原発巣切除 <input type="checkbox"/> 4.姑息的な観血的治療 <input type="checkbox"/> 6.観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9.不明		
	㉒放射線療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
	㉓化学療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
	㉔内分泌療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
	㉕その他治療		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		



演習問題

- 75歳男性。2015年5月より糖尿病、高血圧にて自施設受診中。症状はないが、胃内視鏡を勧めたところ2016/6/2胃内視鏡施行。胃体部前壁に早期癌病変あり。6/9生検病理診断にてGroup 5（腺癌）の診断。
- 6/16福井県立病院に手術目的で紹介受診し、6/30開腹下幽門側胃切除が行われた。

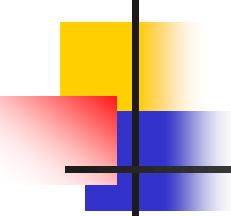
腫瘍の種類	⑧側性		<input type="checkbox"/> 1.右 <input type="checkbox"/> 2.左 <input type="checkbox"/> 3.両側 <input checked="" type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明
	⑨原発部位	大分類	胃
		詳細分類	胃体部
	⑩病理診断	組織型・性状	腺癌
診断情報	⑪診断施設		<input checked="" type="checkbox"/> 1.自施設診断 <input type="checkbox"/> 2.他施設診断
	⑫治療施設		<input checked="" type="checkbox"/> 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
			<input type="checkbox"/> 2.自施設で初回治療を開始
			<input type="checkbox"/> 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続
			<input type="checkbox"/> 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診
	<input type="checkbox"/> 8.その他		
	⑬診断根拠		<input checked="" type="checkbox"/> 1.原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2.転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3.細胞診 <input type="checkbox"/> 4.部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5.臨床検査 <input type="checkbox"/> 6.臨床診断 <input type="checkbox"/> 9.不明
進行度	⑭診断日		<input checked="" type="checkbox"/> 0.西暦 <input type="checkbox"/> 4.平成 2016 年 6 月 2 日
	⑮発見経緯		<input type="checkbox"/> 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input checked="" type="checkbox"/> 3.他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4.剖検発見 <input type="checkbox"/> 8.その他 <input type="checkbox"/> 9.不明
	⑯進展度・治療前		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input checked="" type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
⑰進展度・術後病理学的		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input checked="" type="checkbox"/> 660.手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明	
初回治療	⑱外科的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
	⑲鏡視下		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
	⑳内視鏡的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
	㉑観血的治療の範囲		<input type="checkbox"/> 1.原発巣切除 <input type="checkbox"/> 4.姑息的な観血的治療 <input checked="" type="checkbox"/> 6.観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9.不明
	㉒放射線療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
	㉓化学療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
	㉔内分泌療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
㉕その他治療		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	



演習問題

- 75歳男性。2015年5月の肺癌検診で要精査。福井県立病院で肺癌の診断で胸腔鏡下右肺上葉切除施行。pT2aN1M0。組織型は乳頭型腺癌。
- 2016/7/16紹介状持参で当院初診。術後化学療法を依頼され、同日よりUFT処方した。

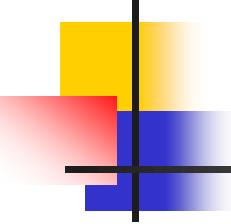
腫瘍の種類	⑧側性		<input checked="" type="checkbox"/> 1.右 <input type="checkbox"/> 2.左 <input type="checkbox"/> 3.両側 <input type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑨原発部位	大分類	肺	
		詳細分類	肺上葉	
	⑩病理診断	組織型・性状	乳頭状腺癌	
診断情報	⑪診断施設		<input type="checkbox"/> 1.自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2.他施設診断 <input type="checkbox"/> 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2.自施設で初回治療を開始 <input checked="" type="checkbox"/> 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8.その他	
	⑫治療施設			
	⑬診断根拠		<input checked="" type="checkbox"/> 1.原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2.転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3.細胞診 <input type="checkbox"/> 4.部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5.臨床検査 <input type="checkbox"/> 6.臨床診断 <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑭診断日		<input checked="" type="checkbox"/> 0.西暦 <input type="checkbox"/> 4.平成 2016 年 7 月 16 日	
	⑮発見経緯		<input checked="" type="checkbox"/> 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3.他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4.剖検発見 <input type="checkbox"/> 8.その他 <input type="checkbox"/> 9.不明	
	進行度	⑯進展度・治療前		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input checked="" type="checkbox"/> 499.不明
		⑰進展度・術後病理学的		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input type="checkbox"/> 410.限局 <input checked="" type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 660.手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
初回治療	⑱外科的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	⑲鏡視下		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	⑳内視鏡的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	㉑観血的治療の範囲		<input type="checkbox"/> 1.原発巣切除 <input type="checkbox"/> 4.姑息的な観血的治療 <input checked="" type="checkbox"/> 6.観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9.不明	
	㉒放射線療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	㉓化学療法		<input checked="" type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	㉔内分泌療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
㉕その他治療		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		



演習問題

- 75歳男性。2015年5月より糖尿病、高血圧にて自施設受診中。2016/5/15受診時、胸痛を訴えた。胸部X-pにて左下肺野に腫瘤陰影あり。5/30福井県立病院に紹介した。
- 6/5の気管支鏡下の肺生検で腺癌と診断。6/16胸腔鏡下左肺下葉切除を施行。pT1a N0 M0（置換型腺癌）。
- 7/3自施設に逆紹介され、経過観察を行つた。

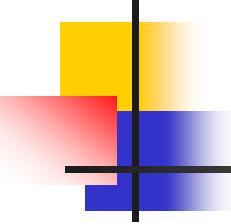
腫瘍の種類	⑧側性		<input type="checkbox"/> 1.右 <input checked="" type="checkbox"/> 2.左 <input type="checkbox"/> 3.両側 <input type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑨原発部位	大分類	肺	
		詳細分類	肺下葉	
	⑩病理診断	組織型・性状	置換型腺癌	
診断情報	⑪診断施設		<input type="checkbox"/> 1.自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2.他施設診断 <input type="checkbox"/> 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2.自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8.その他	
	⑫治療施設			
	⑬診断根拠		<input checked="" type="checkbox"/> 1.原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2.転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3.細胞診 <input type="checkbox"/> 4.部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5.臨床検査 <input type="checkbox"/> 6.臨床診断 <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑭診断日		<input checked="" type="checkbox"/> 0.西暦 <input type="checkbox"/> 4.平成 2016 年 7 月 3 日	
	⑮発見経緯		<input type="checkbox"/> 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3.他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4.剖検発見 <input checked="" type="checkbox"/> 8.その他 <input type="checkbox"/> 9.不明	
	進行度	⑯進展度・治療前		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input checked="" type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
		⑰進展度・術後病理学的		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input checked="" type="checkbox"/> 660.手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
	初回治療	⑱外科的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
		⑲鏡視下		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
⑳内視鏡的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
㉑観血的治療の範囲		<input type="checkbox"/> 1.原発巣切除 <input type="checkbox"/> 4.姑息的な観血的治療 <input checked="" type="checkbox"/> 6.観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9.不明		
㉒放射線療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
㉓化学療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
㉔内分泌療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
㉕その他治療		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		



演習問題

- 88歳男性。脳梗塞後遺症、寝たきりにて自施設受診中。2016/5/15咳嗽あり受診。胸部X-pにて右下肺野に腫瘤陰影あり。CTにて右肺下葉4cm大腫瘤、縦隔リンパ節転移あり、遠隔転移なし。5/20の喀痰細胞診にて5/27扁平上皮癌と診断。
- 高齢、合併症のため、無治療経過観察を選択。7/1死亡された。

腫瘍の種類	⑧側性		<input checked="" type="checkbox"/> 1.右 <input type="checkbox"/> 2.左 <input type="checkbox"/> 3.両側 <input type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑨原発部位	大分類	肺	
		詳細分類	肺下葉	
	⑩病理診断	組織型・性状	扁平上皮癌	
診断情報	⑪診断施設		<input checked="" type="checkbox"/> 1.自施設診断 <input type="checkbox"/> 2.他施設診断 <input type="checkbox"/> 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8.その他	
	⑫治療施設			
	⑬診断根拠		<input type="checkbox"/> 1.原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2.転移巣の組織診 <input checked="" type="checkbox"/> 3.細胞診 <input type="checkbox"/> 4.部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5.臨床検査 <input type="checkbox"/> 6.臨床診断 <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑭診断日		<input checked="" type="checkbox"/> 0.西暦 <input type="checkbox"/> 4.平成 2016 年 5 月 20 日	
	⑮発見経緯		<input type="checkbox"/> 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3.他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4.剖検発見 <input checked="" type="checkbox"/> 8.その他 <input type="checkbox"/> 9.不明	
	進行度	⑯進展度・治療前		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input type="checkbox"/> 410.限局 <input checked="" type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
		⑰進展度・術後病理学的		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input checked="" type="checkbox"/> 660.手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
	初回治療	⑱外科的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
		⑲鏡視下		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
⑳内視鏡的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
㉑観血的治療の範囲		<input type="checkbox"/> 1.原発巣切除 <input type="checkbox"/> 4.姑息的な観血的治療 <input checked="" type="checkbox"/> 6.観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9.不明		
㉒放射線療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
㉓化学療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
㉔内分泌療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		
㉕その他治療		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明		



演習問題

- 78歳女性。住民検診の便潜血陽性のため2016/5/15受診。5/25大腸内視鏡施行。S状結腸にIs型病変あり。粘膜内癌疑いのため、EMR施行。病理にて高分化型管状腺癌、粘膜下層深部浸潤あり。リンパ管侵襲あり。深部断端陰性。側方断端は陽性。
- 6/15福井県立病院へ紹介受診。6/25腹腔鏡下S状結腸切除施行。腫瘍の遺残なし。リンパ節転移なし。

腫瘍の種類	⑧側性		<input type="checkbox"/> 1.右 <input type="checkbox"/> 2.左 <input type="checkbox"/> 3.両側 <input checked="" type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑨原発部位	大分類	結腸	
		詳細分類	S状結腸	
	⑩病理診断	組織型・性状	高分化型管状腺癌	
診断情報	⑪診断施設		<input checked="" type="checkbox"/> 1.自施設診断 <input type="checkbox"/> 2.他施設診断 <input type="checkbox"/> 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8.その他	
	⑫治療施設			
	⑬診断根拠		<input checked="" type="checkbox"/> 1.原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2.転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3.細胞診 <input type="checkbox"/> 4.部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5.臨床検査 <input type="checkbox"/> 6.臨床診断 <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑭診断日		<input checked="" type="checkbox"/> 0.西暦 <input type="checkbox"/> 4.平成 2016 年 5 月 25 日	
	⑮発見経緯		<input checked="" type="checkbox"/> 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3.他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4.剖検発見 <input type="checkbox"/> 8.その他 <input type="checkbox"/> 9.不明	
	進行度	⑯進展度・治療前		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input checked="" type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
		⑰進展度・術後病理学的		<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input checked="" type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 660.手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
初回治療	⑱外科的		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	⑲鏡視下		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	⑳内視鏡的		<input checked="" type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	㉑観血的治療の範囲		<input type="checkbox"/> 1.原発巣切除 <input checked="" type="checkbox"/> 4.姑息的な観血的治療 <input type="checkbox"/> 6.観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9.不明	
	㉒放射線療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	㉓化学療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	㉔内分泌療法		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	
	㉕その他治療		<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明	

全国がん登録

—具体的な登録—

- 施設特性に合わせた(院内・全国)がん登録を実行してください
- 登録はできれば実務者で行う
- 全国がん登録の項目数は27なので、一部の項目を除きそれほど難しくない
- (多少間違えてもよいので)登録漏れがないようお願いしたい